

**繊維補強セメント系複合材料の新しい利用法研究委員会（JCI-TC-104A）**  
**第5回委員会議事録案**

日 時：平成23年8月29日（月）15:00～17:30

場 所：JCI会議室

出席者：金子，国枝，金久保，栗橋，網野，石原，磯，伊藤，岩波，諏訪田，斯波，平田，  
前田（信），室賀，山野辺，浅野，JCI井上

欠席者：浅井，菊田，瀬古，塩永，堀口，長井，前田（徳），永井，渡辺（敬称略）

資 料：

- 5-1 第5回委員会議事次第
- 5-2 第4回委員会議事録案
- 5-3 HPFRCC6報告
- 5-4 委員会活動ロードマップ
- 5-5 WG1活動内容資料一式
- 5-6 WG2作業項目

議 事：

1. 委員長挨拶

金子委員長より，開会の挨拶があった。

2. HPFRCC6報告

国枝幹事から，6月末にアメリカにて開催されたHPFRCC6の概要報告があった。

3. WG報告

第4回全体委員会後に作成されたロードマップ（資料5-4）の内容を確認し，基本的には了承された。これも踏まえて，各WG主査から，WGの活動報告がなされた。主な内容は以下のとおり。

<WG1 新しい利用法>

- ・文献調査の取りまとめ方法を最終確認し，整理を至急行う予定である。
- ・材料の変遷や利用法の変遷といった流れを重視し，それらから新しい利用法を探る方針とする。  
ある固有の新しい利用法でなくても，文献整理結果と時代背景などを総合的に考察するなどの方法があるかもしれない。

<WG2 性能評価>

- ・ひび割れ幅評価の重要性を示す部分では，土木・建築分野のそれぞれにメリットがあるような執筆が望ましい。例えば，道路では浅野委員，港湾では岩波委員とも相談しながら執筆すると良い。
- ・架橋則に関する論文等の情報提供が各委員に対して要請された。
- ・クリープ，繰返しなど，重要であるがデータがないものについては，その旨を記載するだけでも良い。

<WG3 環境対応>

- ・FRCの一連のライフサイクルの中で，普通コンクリートよりも環境インパクトが大きくなる材料調達および廃棄の部分に着目した情報提供を目標とする。

- ・材料調達では、繊維製造の原単位の算定をし、廃棄の部分では代表的な FRC を対象に破砕性状の確認実験を実施予定である。
- ・廃棄のし易さの観点から、長期の使用に供する部材とするか、解体を前提とした部材とするかなどの利用法を提言する方向性を考えている。
- ・LC-CO<sub>2</sub>に関しては、実際の試算例などがあると良い。

以上の個別の内容に加えて、各 WG の相互の関連性について審議を行った。長期性能やひび割れ幅といったキーワードで有機的に関連していることは事実であり、まずはそれらを意識して個別に取りまとめることとした。内容を確認後、それらを横断的に総括するような章を報告書に設けることなども想定する。

#### 4. 成果報告の方法

成果報告は、シンポジウム形式とし、一般の方からの論文募集を想定することとした。時期としては、8 月末から 9 月とし、その他の学会のスケジュールを確認の上、再度日程調整をすることとした。

#### 5. 次回開催予定

メールにて日程調整を行う。基本スケジュールは以下のとおり。

- ・10 月に WG を開催
- ・12 月に全体委員会を開催
- ・3 月に全体委員会

以上